

作品撮影ポイント

写真での審査を行いますので、できるだけ鮮明な写真をご用意ください。以下の点に配慮して撮影をお願いします。なお、作品撮影の際には、裏表紙の「グレーカード」を入れてください。

●光について●

生活の中には、日光、蛍光灯などがありますが、その中の一つだけの光を使うようにすると作品の発色が安定しやすいです。晴天の午前中の屋外、もしくは窓際など、光が均一にあたる自然光がおすすめです。ただし、直射日光は作品の劣化や、色が白けた写真になってしまうことがあるので避けてください。夜に撮影する場合は、蛍光灯の光の下での撮影も大丈夫です。撮影の時は、自分の影が入らないように気をつけてください。



Point ①

○絵の具部分のテカリや作品の一部が白く浮き上がった状態になるのを防ぐため、フラッシュはできるだけ使わないでください。

○光や撮影者の写り込みを防ぐため、額（ガラス、アクリル）は外して撮影してください。

Point ②

○光が均一になりにくい時は白いものを立て反射させ、加減を調節してください。



●カメラの位置について●



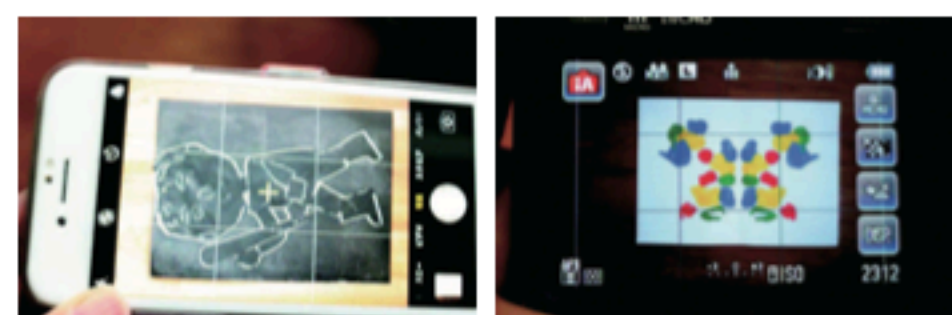
Point ①

○作品の中心にレンズがくるようにしてカメラを水平に保った状態で撮影してください。平面作品は大きさによって、作品を地面に置き真上から撮影したり、壁に貼る、立てかける、吊るなどして撮影してください。



Point ②

○手ブレ防止のため、できるだけ三脚を使用して撮影してください。同じ大きさの作品を撮影する時は、三脚を使用することで効率よく撮影できるのでオススメです。



Point ③

○カメラにグリッドライン機能があれば活用すると便利です。



●その他●

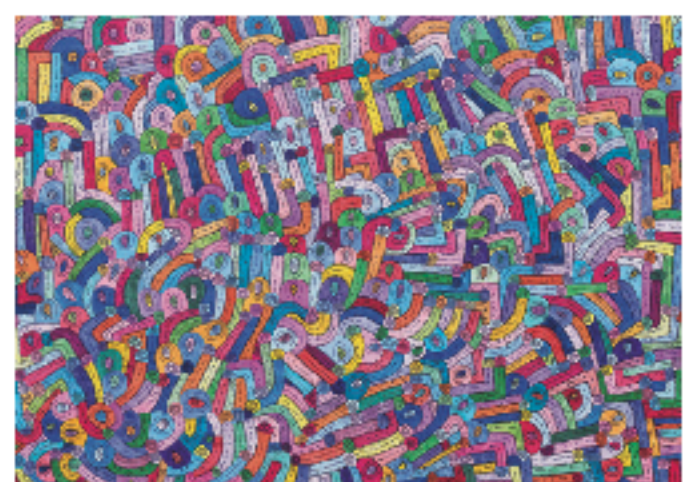
- 背景は、他の物が写らないように撮影しましょう。
- 立体作品は背景色で印象が変わってきますので、作品のイメージに合わせて撮影してください。
- 作品の色と写真の色が違うなと感じた時は、カメラの露出補正機能を使うと明るさが変わってきますので、試してみてください。明るくしたかったら(+), 暗くしたかったら(-)です。
- 作品の色調整が難しい場合は、応募用紙にあるグレーカードを作品と一緒に写して御応募ください。
- ※ただし、グレーカードと一緒に撮影いただいても、本来の色に修正できないこともあります。御承知ください。

作品撮影方法や応募方法についてご不明な点がございましたら、お気軽に事務局までご連絡ください。

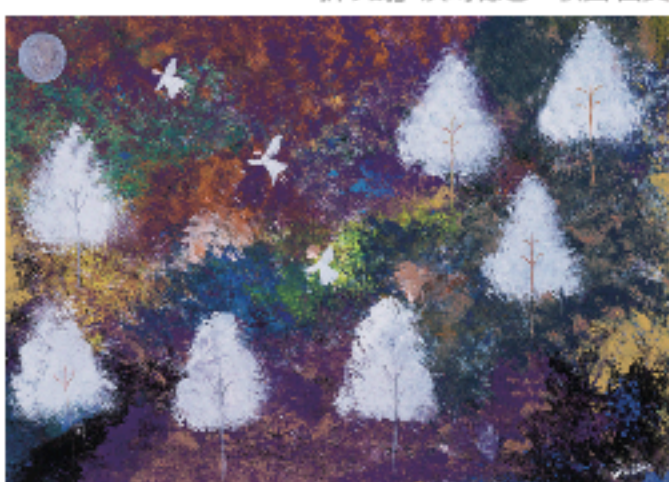
一緒に楽しむ、一緒に創る、スタートしながら



「折り鶴」浜崎稔也 秋田由美



「マヨナカに宇宙語がふくらむ目玉」カミシヨウミカ



「大世界」新三千里

■応募締切

2024年6月15日(土) 必着

■部門と応募点数

- ①個人制作部門 1人2点まで
- ②共同制作部門 1組1点まで

■主催

広島市／認定NPO法人ひゅーるぽん／アートサポーター

応募料無料

※申し込みに関わる書類の送料データ通信料、入選後の作品搬送、返却代金については応募者負担になります。

応募・お問い合わせ

広島市ピースアートプログラム アート・ルネッサンス
HPAR2024係 運営事務局

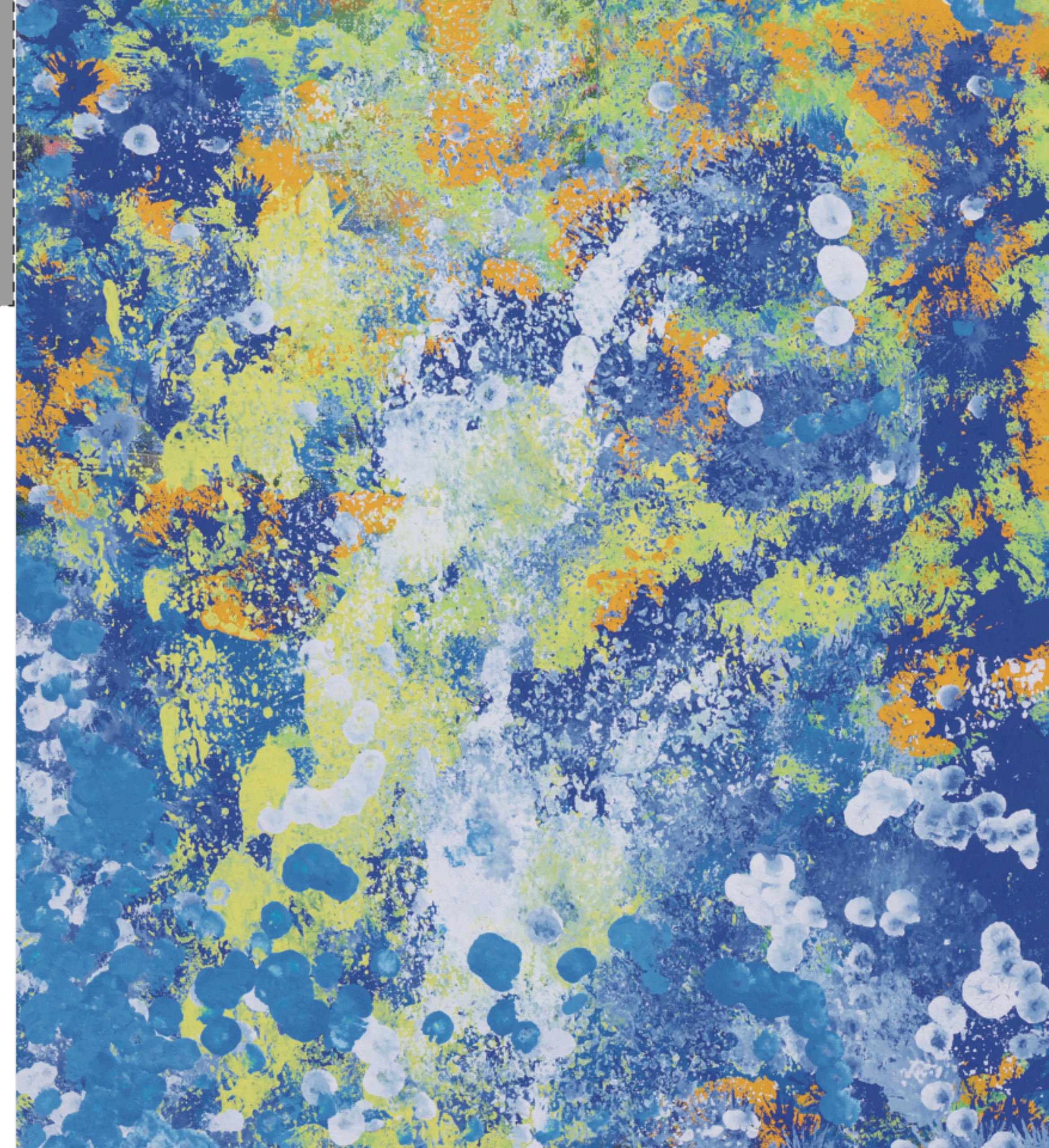
☎082-831-6888 〒731-0102 広島市安佐南区川内6-28-15

✉info@hullpong.jp URL:https://www.hullpong.jp

こちらでも
随時情報を
発信しています。



「色鮮やかなシャコ」松下和希



小川貴弘

広島市ピースアートプログラム アート・ルネッサンス

HPAR 2024

2024年6月15日(土) 必着

展示開催期間 2024年9月28日(土)～10月6日(日)

応募料無料

